平成２８年熊本地震における
地域防災活動状況等アンケート調査
結果報告書

【期　間】平成28年7月29日～8月12日
【対象者】1,081件
【回答数】615件
【回答率】56.9%

平成２８年９月

熊本市政策局

【概要】

１　趣旨

平成２８年熊本地震では、建物倒壊や地盤の亀裂の発生、ライフラインの途絶など、市民生活に多大な影響が出るとともに、行政の対応など様々な課題が浮かび上がってきた。

今回のアンケート調査では震災時の行動や今後の考え等について回答いただき、本市の今後の復旧・復興や防災活動等への各取り組みに活かしていくもの。

２　調査方法

郵送による配布・回収

３　主な問の結果について

問5：今回の震災を経験して、地域で必要と感じる訓練や講習会

１位・・・地域住民の安否確認訓練　６９.３％
２位・・・避難訓練　５９.３％
３位・・・避難所運営訓練　４７.５％

問18：共助として震災後に地域で新たに備えたものや今後備えたいと思っているもの（こと）

１位・・・非常時に地域の高齢者等の安否確認を誰が行うか役割分担を決める　４２.０％
２位・・・災害時の自主防災組織の体制や各人の役割分担を整備する（体制図を作る）　４１.１％
３位・・・地域での緊急連絡網を作成する　４０.３％

問20：公助として災害時に行政からの支援体制で特に必要だと思うもの（こと）

１位・・・避難所の設置・運営の円滑化　５２.８％
２位・・・水道・下水道の速やかな復旧活動　３９.０％
３位・・・指定避難所以外の避難者へのきめ細やかな対応（車中泊含む）　３７.４％

問21：災害時に知りたい情報

１位・・・飲料水、食糧等の入手方法　６９.８％
２位・・・ライフラインの被害・復旧情報　６２.７％
３位・・・避難場所の情報　５１.９％

問22：災害時の行政からの情報提供の手段として有効なもの

１位・・・テレビ　５７.０％
２位・・・ラジオ　５６.６％
３位・・・携帯電話　５５.５％

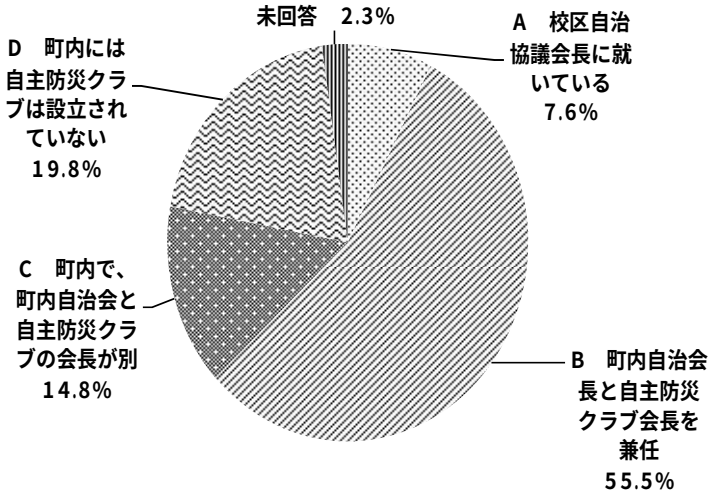
問12：今後新たに避難所として考える施設

１位・・・集会所（地域コミュニティセンター、地域公民館など）　３６.８％
２位・・・大規模な公園や広場　２２.３％
３位・・・民間の大規模な施設　１９.５％

問13：避難所以外の自宅や車中泊等の方への支援

１位・・・食料や飲料水の配給　７８.０％
２位・・・生活支援や災害・避難所状況などの情報提供　５３.０％
３位・・・生活用品等など物資の配給　５２.５％

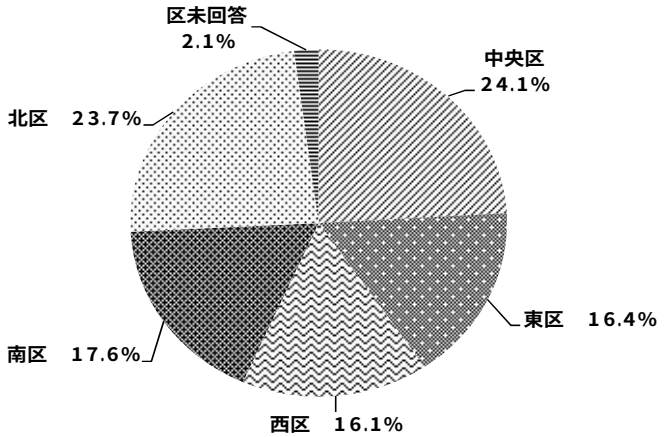
問１　あなたが会長としての立場にあてはまるアルファベットに「○」をつけてください。



◆有効回答内訳

回答項目	件数	割合
A　校区自治協議会長に就いている	47	7.6%
B　町内自治会長と自主防災クラブ会長を兼任	341	55.5%
C　町内で、町内自治会と自主防災クラブの会長が別	91	14.8%
D　町内には自主防災クラブは設立されていない	122	19.8%
未回答	14	2.3%
合計	615	100.0%

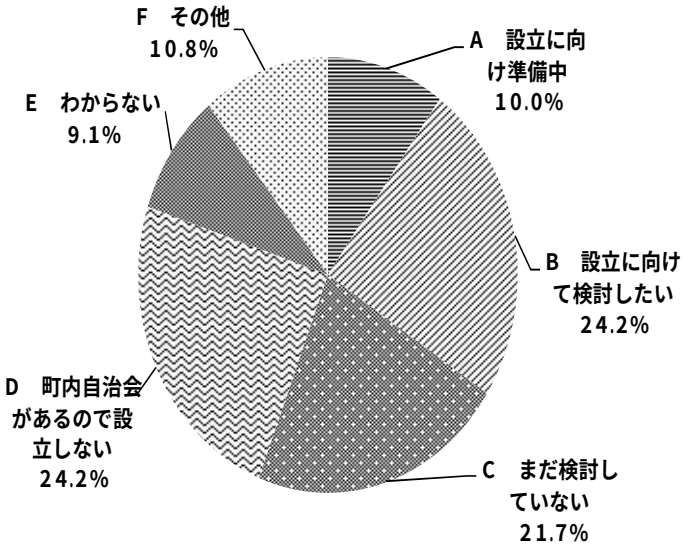
【参考】



◆行政区別回答内訳

行政区	件数	割合
中央区	148	24.1%
東区	101	16.4%
西区	99	16.1%
南区	108	17.6%
北区	146	23.7%
区未回答	13	2.1%
合計	615	100.0%

問２　問１で「D」と回答された方にお聞きします。
今回の震災を受けて、今後、自主防災クラブ設立についてどのようにお考えですか。
あてはまるアルファベットに１つ「○」をつけてください。

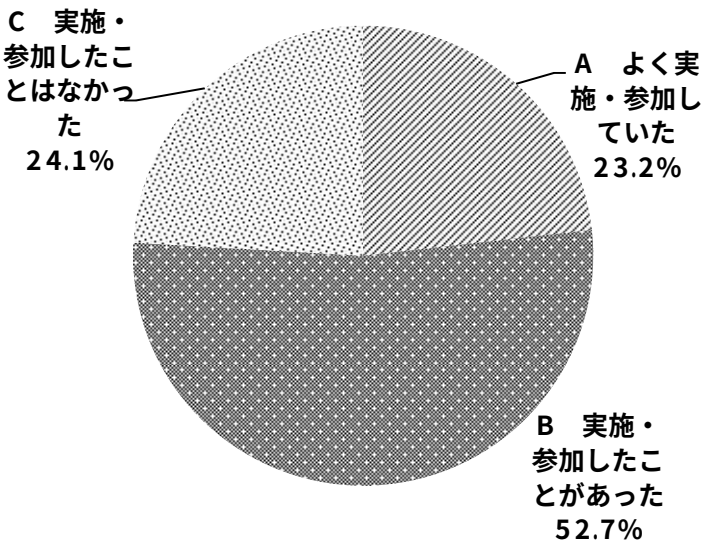


◆有効回答内訳（未回答あり）

回答項目	件数	割合
A　設立に向け準備中	12	10.0%
B　設立に向けて検討したい	29	24.2%
C　まだ検討していない	26	21.7%
D　町内自治会があるので設立しない	29	24.2%
E　わからない	11	9.1%
F　その他	13	10.8%
合計	120	100.0%

問３　あなたの地域では、４月１４日の震災以前に防災訓練や行政などが行う講習会に実施・参加したことがありましたか。あてはまるアルファベットに１つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では「A　よく実施・参加していた」、「B　実施・参加したことがあった」と回答した方が**７５.９%**と高い状況となっている。

●４人に１人以上は、少なくとも１度は防災訓練・講習会等に実施・参加したことがある状況。

●区別では中央区・東区が８０%を超える割合で「A　よく実施・参加していた」、「B　実施・参加したことがあった」と回答しているのに対し、北区では約６０%と若干低い状況となっている。

【主な意見】

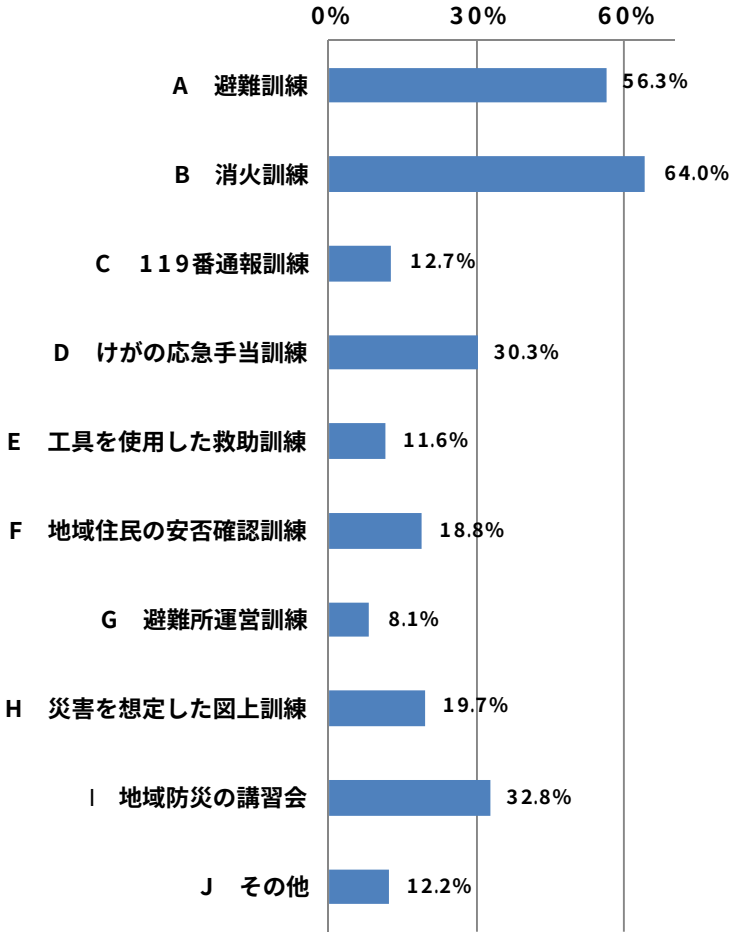
・毎年、校区全体の訓練に参加している。
・会長（１人）しか参加していない。
・毎年１回は訓練を実施。
・防災クラブ役員のみ１～２回参加、会長は３回参加。
・町内防災訓練（約２９０名）を実施。

（未回答者あり）　　（上段：回答数　下段：%）

		回答数	A	B	C
全体合計		603	140	318	145
			23.2%	52.7%	24.1%
行政区別	中央区	146	44	76	26
			30.1%	52.1%	17.8%
	東区	100	30	55	15
			30.0%	55.0%	15.0%
	西区	95	24	48	23
			25.3%	50.5%	24.2%
	南区	107	16	69	22
			15.0%	64.5%	20.5%
	北区	143	24	62	57
			16.8%	43.3%	39.9%
	区未回答	12	2	8	2
			16.7%	66.6%	16.7%

問４　問３で、防災訓練や講習会に「A　よく実施・参加していた」「B　実施・参加したことがあった」とお答えした方にお聞きします。あなたの町内が実施・参加したことがある訓練や講習会は何ですか。あてはまるアルファベットに「○」をつけてください。（複数回答可）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「B　消火訓練」に実施・参加したことがある方が**６４％**と最も高く、次いで「A　避難訓練」が５６.３％と高く、**AとBのみ５０％を超える**状況となっている。

●３０％を超えた項目（A、B、D、I）については、市や消防など行政が主体で行う訓練・講習会への参加が高い状況と考えられる。
また、「A　避難訓練」「B　消火訓練」については、地域が主体となり訓練等を実施したものが回答に含まれると考えられる。

●区別では、全体と同様に（A、B、D、I）が高くなっている（南区のみDが低い）おり、区毎においては概ね大きなバラつきはない状況となっている。

【その他　主な意見】

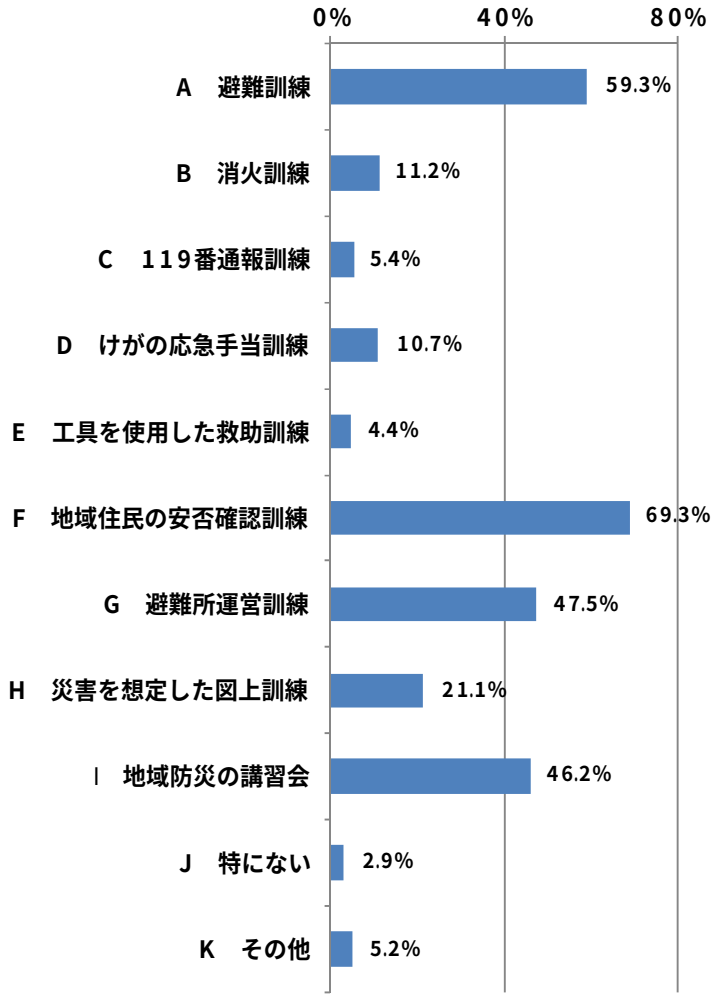
・AED（自動体外式除細動機）使用講習会。
・町内全世帯へ講習会資料のコピー配布。
・防災フェア。
・地震についての講習会。
・水害講習。

（回答者数：問３で「AまたはB」と回答した数、回答数：1,220件）　（上段：回答数　下段：%）

		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
全体合計		458	258	293	58	139	53	86	37	90	150	56
			56.3%	64.0%	12.7%	30.3%	11.6%	18.8%	8.1%	19.7%	32.8%	12.2%
行政区別	中央区	120	72	74	11	39	14	24	12	29	45	14
			60.0%	61.7%	9.2%	32.5%	11.7%	20.0%	10.0%	24.2%	37.5%	11.7%
	東区	85	50	60	19	29	17	16	10	17	27	6
			58.8%	70.6%	22.4%	34.1%	20.0%	18.8%	11.8%	20.0%	31.8%	7.1%
	西区	72	50	46	15	23	6	12	5	15	28	7
			69.4%	63.9%	20.8%	31.9%	8.3%	16.7%	6.9%	20.8%	38.9%	9.7%
	南区	85	42	44	7	11	5	14	5	13	23	15
			49.4%	51.8%	8.2%	12.9%	5.9%	16.5%	5.9%	15.3%	27.1%	17.6%
	北区	86	41	63	6	32	8	19	5	14	25	13
			47.7%	73.3%	7.0%	37.2%	9.3%	22.1%	5.8%	16.3%	29.1%	15.1%
	区未回答	10	3	6	0	5	3	1	0	2	2	1
			30.0%	60.0%	0.0%	50.0%	30.0%	10.0%	0.0%	20.0%	20.0%	10.0%

問５　あなたの地域で今回の震災を経験して、必要と感じる訓練や講習会は何ですか。
あてはまるアルファベットに３つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「F　地域住民の安否確認訓練」を選択した方が**６９.３%**と最も高く、次いで「A　避難訓練」が５９.３%と高く、**FとAのみが５０%を超えた**状況。

●また、「G　避難所運営訓練」と「I　地域防災の講習会」が４０%を超えており、今回の「平成２８年熊本地震」の経験したことから（A、F、G、I）が高くなっていると考えられる。
特に「F　地域住民の安否確認訓練」については、今回のアンケート対象が町内自治会長等ということもあり、共助の取り組みとして関心が高くなったことが考えられる。

●区別においても、区毎に大きなバラつきはなく（A、F、G、I）が高い項目となっている。

【その他　主な意見】

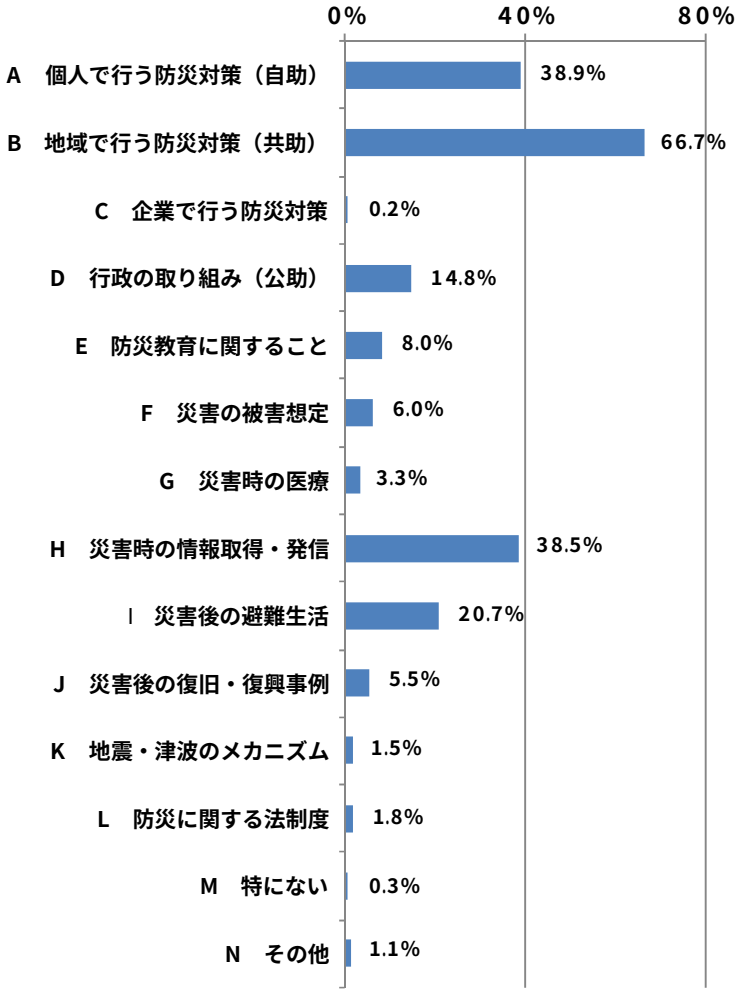
・情報の把握と伝達方法。
・市職員にも防災教育を行ってほしい。
・他町内自治会との連携。
・地盤崩壊防止の取り組み。
・防災リーダー育成。
・町民の意識向上。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：1,742件）　　（上段：回答数　下段：%）

		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
全体合計		615	365	69	33	66	27	426	292	130	284	18	32
			59.3%	11.2%	5.4%	10.7%	4.4%	69.3%	47.5%	21.1%	46.2%	2.9%	5.2%
行政区別	中央区	148	82	16	13	18	8	92	74	26	73	6	12
			55.4%	10.8%	8.8%	12.2%	5.4%	62.2%	50.0%	17.6%	49.3%	4.1%	8.1%
	東区	101	57	9	4	10	7	78	64	27	46	0	6
			56.4%	8.9%	4.0%	9.9%	6.9%	77.2%	63.4%	26.7%	45.5%	0.0%	5.9%
	西区	99	67	9	5	7	3	62	40	22	54	2	5
			67.7%	9.1%	5.1%	7.1%	3.0%	62.6%	40.4%	22.2%	54.5%	2.0%	5.1%
	南区	108	70	8	4	11	5	82	49	25	43	4	3
			64.8%	7.4%	3.7%	10.2%	4.6%	75.9%	45.4%	23.1%	39.8%	3.7%	2.8%
	北区	146	84	26	7	16	2	105	58	27	64	6	5
			57.5%	17.8%	4.8%	11.0%	1.4%	71.9%	39.7%	18.5%	43.8%	4.1%	3.4%
	区未回答	13	5	1	0	4	2	7	7	3	4	0	1
			38.5%	7.7%	0.0%	30.8%	15.4%	53.8%	53.8%	23.1%	30.8%	0.0%	7.7%

問６　あなたの地域は防災に関係する研修や講習会のテーマとして、どのような分野が有効であると考えますか。あてはまるアルファベットに２つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「B　地域で行う防災対策（共助）」を選択した方が**６６.７％**と最も高く、次いで「A　個人で行う防災対策（自助）」が**３８.９％**、「H　災害時の情報取得・発信」が**３８.５％**と高い状況。

●これは、「平成２８年熊本地震」の発生直後、行政からの支援（物資等）が十分に行き届かなかった避難所等もあることから、災害発生直後の数日間において「自助・共助」（A、B）の必要性に対して関心が高くなったことが考えられる。また、災害情報・支援情報が十分に把握できない被災者もいたため、「H　災害時の情報取得・発信」についても高い状況となったことが考えられる。

●区別においても、区毎に大きなバラつきはなく、（A、B、H）が高い項目となっている。

【その他　主な意見】

・災害に対する意識の向上。
・必要な物資等の備蓄方法。
・避難マニュアルや組織図を作成し、見直しや勉強会を行っている。
・自助、共助を併せた防災講座。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：1,274件）　　（上段：回答数　下段：%）

		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
全体合計		615	239	410	1	91	49	37	20	237	127	34	9	11	2	7
			38.9%	66.7%	0.2%	14.8%	8.0%	6.0%	3.3%	38.5%	20.7%	5.5%	1.5%	1.8%	0.3%	1.1%
行政区別	中央区	148	64	92	1	20	10	8	8	47	42	7	2	5	0	2
			43.2%	62.2%	0.7%	13.5%	6.8%	5.4%	5.4%	31.8%	28.4%	4.7%	1.4%	3.4%	0.0%	1.4%
	東区	101	38	80	0	16	7	5	3	43	25	4	2	2	0	2
			37.6%	79.2%	0.0%	15.8%	6.9%	5.0%	3.0%	42.6%	24.8%	4.0%	2.0%	2.0%	0.0%	2.0%
	西区	99	47	64	0	14	10	7	1	35	14	4	4	3	1	2
			47.5%	64.6%	0.0%	14.1%	10.1%	7.1%	1.0%	35.4%	14.1%	4.0%	4.0%	3.0%	1.0%	2.0%
	南区	108	36	73	0	16	8	9	3	43	19	9	0	0	1	1
			33.3%	67.6%	0.0%	14.8%	7.4%	8.3%	2.8%	39.8%	17.6%	8.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%
	北区	146	49	95	0	25	13	8	5	66	23	9	0	1	0	0
			33.6%	65.1%	0.0%	17.1%	8.9%	5.5%	3.4%	45.2%	15.8%	6.2%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%
	区未回答	13	5	6	0	0	1	0	0	3	4	1	1	0	0	0
			38.5%	46.2%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	23.1%	30.8%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%

問７　４月１４日及び１６日の地震発災後に、あなたの地域では、次のどの団体が活動されていましたか。活動した団体がある場合は、あてはまる活動場所に「○」をつけてください。（複数回答可）

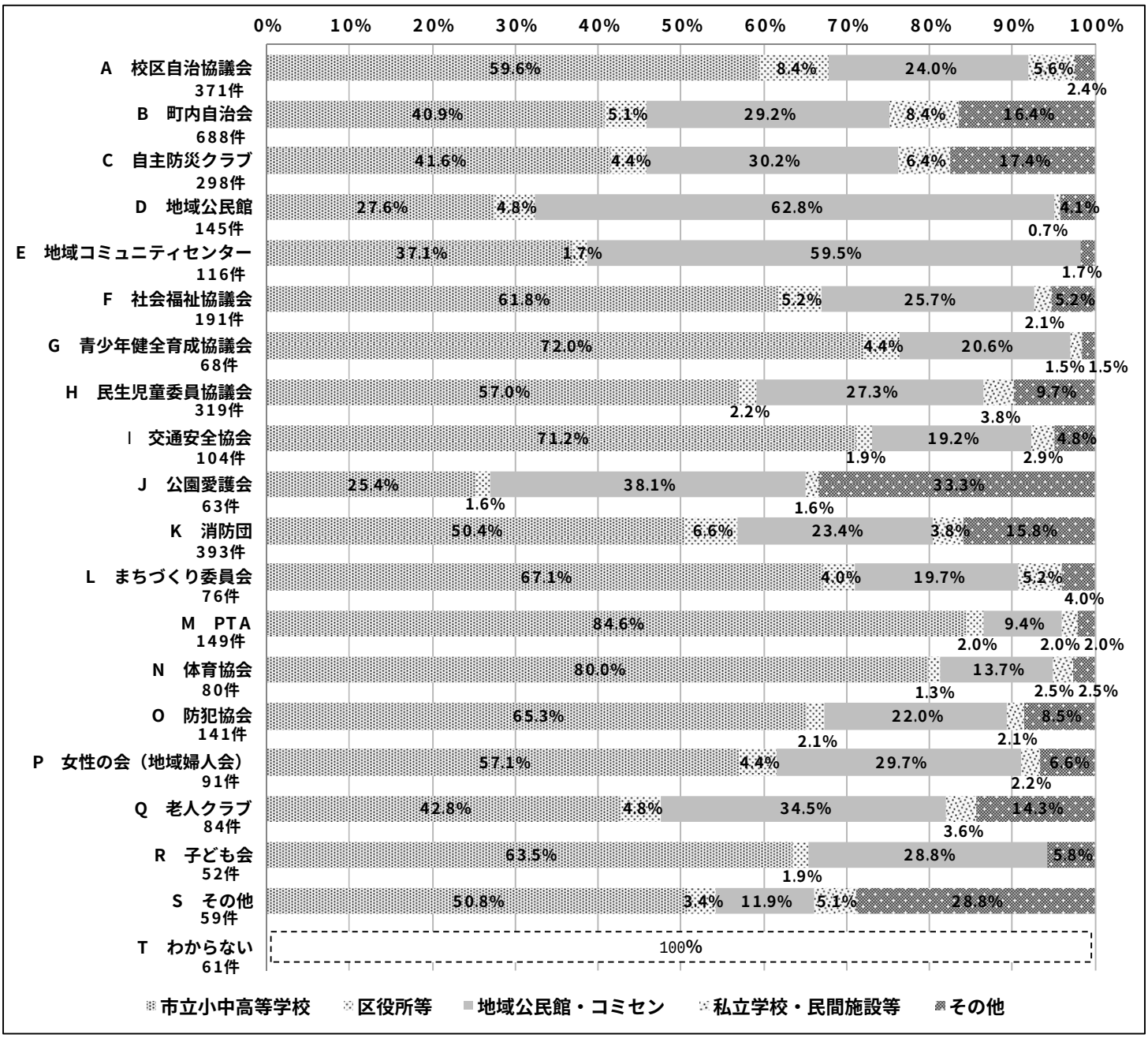
【集計分析】

●各団体が活動した場所としては、指定避難所である「市立小中高等学校」が最も高い状況となっている。

●次いで、今回の地震では指定避難所に入りきれず「地域公民館・コミュニティセンター」に避難をされた被災者もいたため、「地域公民館・コミセン」が高い状況となっており、特に施設を開放した「D　地域公民館」「E　地域コミュニティセンター」では５０％を越える状況となっている。

●また、公園や広場での車中泊者等も多くいたことから、「その他」での活動が団体別では（B、C、J、Q、S）において高い状況なっている。

【全体集計】



問８　問７で「A～S」に「○」をつけた方にお聞きします。選択した団体が活動した主な内容について、わかる範囲でご記入ください。

【主な意見】

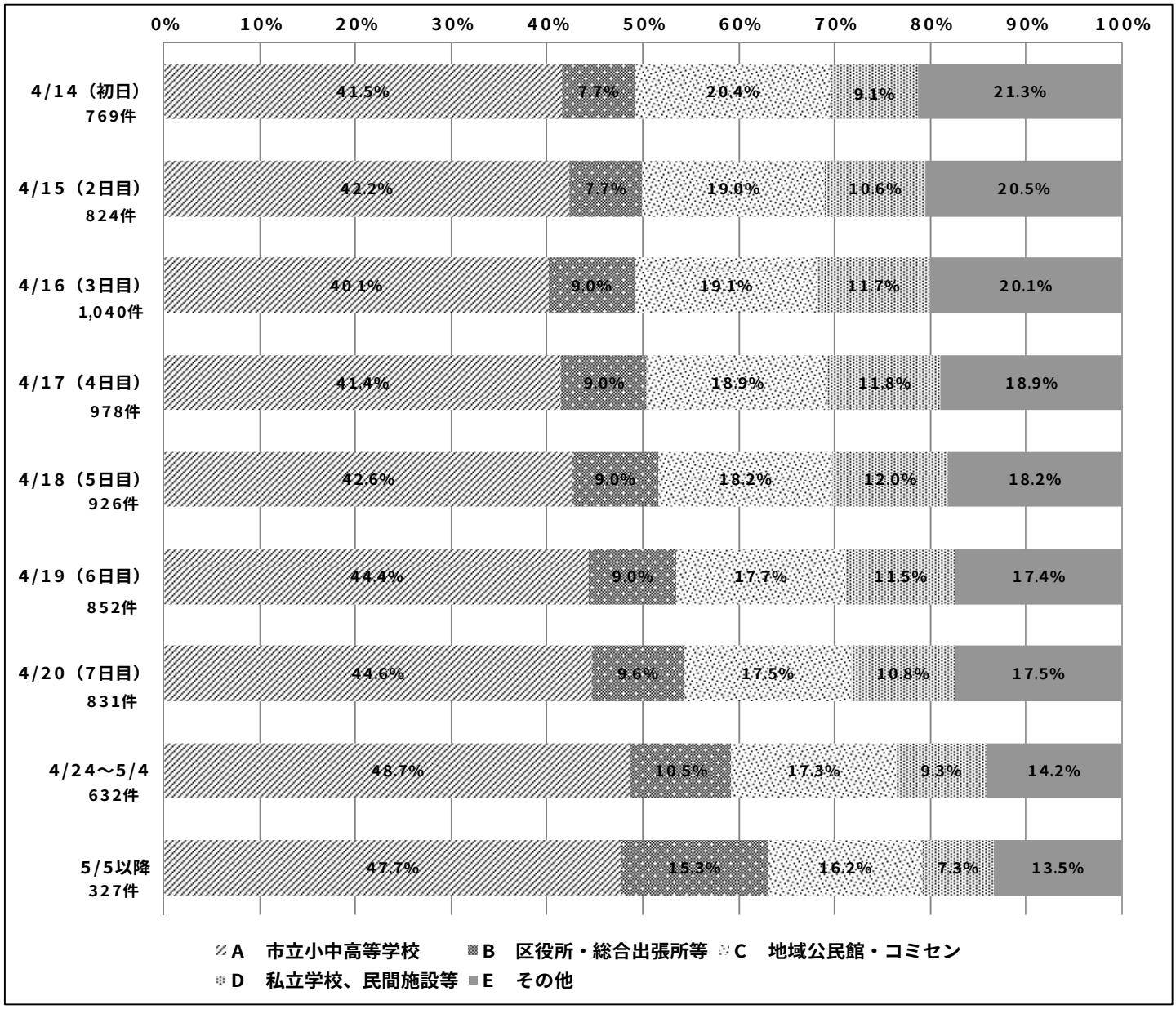
A　校区自治協議会
・自治協会長、防災会長、社福協会長、小学校長等と対策組織を立ち上げ、役割分担など地震対策を行う。
・各町内との情報提供、地域の見廻り、支援物資の受入、避難誘導など避難所における全般的な活動を行う。
B　町内自治会
・地域公民館を避難所として開設し、周辺自治会と公民館が協力して避難所の運営を行う。
・町内における避難誘導や安否確認、見回りを実施。その他、炊出しなど避難所における全般的な活動を行う。
C　自主防災クラブ
・地域における危険箇所の把握と、行政への復旧要請。町内会と連携し公民館やコミセンの避難所設置・運営。
D　地域公民館
・公民館を一時避難所として開設、避難者の受入・避難所運営。特に指定避難所まで行けない高齢者等の受入。
・公民館の耐震性が不明確だったため避難所としては開設せず、水や一部の保存食のみを保管した。
E　地域コミュニティセンター
・コミセンを避難所として開設し、避難者の受入・避難所運営。コミセンには行政からの支援物資等が届かなかったため、食事の提供や調理場を使用して炊き出しを実施した。
F　社会福祉協議会
・各避難所における避難所運営支援および一人暮らし高齢者等の安否確認等を実施。
・避難所にてボランティアの受付などコーディネーターとしての役割を担う。
G　青少年健全育成協議会
・各団体と協力して避難所運営をサポート。子ども達への声かけ。
H　民生児童委員協議会
・避難所および各町内での被災者への支援や被災の聞き取り調査を実施。
・一人暮らし高齢者や要援護者の健康確認、保健関係者との調整、親との連絡、水の配布をかねた家庭訪問等。
I　交通安全協会
・避難所や避難所周辺における車の交通整理や誘導、指導を実施。
J　公園愛護会
・避難者への公園の開放、支援。行政との調整による公園内の夜間点灯などを実施。
K　消防団
・避難所や校区内において防犯巡回、危険箇所の見回り、避難誘導や物資の確保・運搬、広報活動を実施。
L　まちづくり委員会
・各団体と協力して避難所における全般的な運営、サポートを実施。
M　PTA
・学校避難所運営や避難者に対する支援を全般的に受け持ち活動。子ども達の安全確認を行う。
N　体育協会
・各団体と協力して避難所における全般的な運営、サポートを実施。小中学校の避難所を開錠。
O　防犯協会
・避難所における防犯活動、地域における留守家屋への巡回パトロールなどを実施。
P　女性の会（婦人会）
・避難所における炊き出しや食事の提供、支援などを実施。
Q　老人クラブ
・各団体と協力し避難所における全般的運営、サポートを実施。町内における在宅避難者や要援護者の訪問等。
R　子ども会
・各団体と協力し避難所における全般的運営、サポートを実施。子供達への声かけ、通学路の安全確認を行う。
S　その他
・避難所における避難者やボランティア、各民間団体や公園等の施設など多くの団体が支援活動を実施。

問９　４月１４日の震災当日から、町内の住民が主に避難した場所をお聞きします。日付ごとの主な避難場所についてあてはまる欄に「○」をつけてください。（同じ日付で複数の場所が該当する場合は複数の「○」も選択可能です。）

【集計分析】

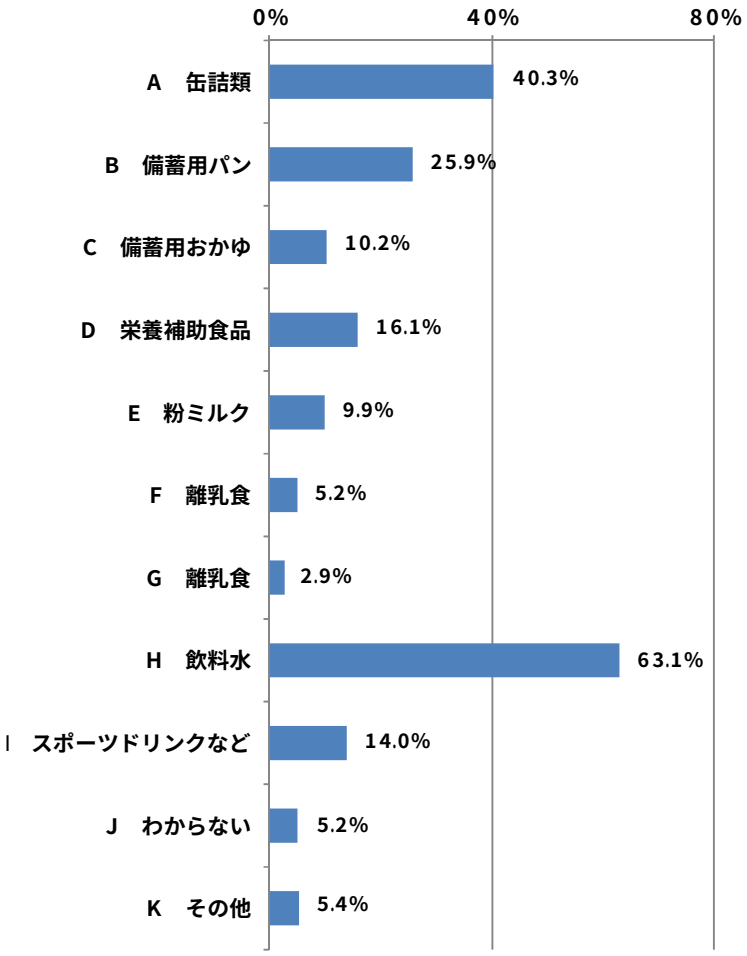
●場所毎の主な避難場所としては、約４０～５０％が指定避難所である「A　市立小中高等学校」に避難しており、次いで「C　地域公民館・コミセン」「E　その他」に約１０～２０％の方が避難した状況にある。これは指定避難所に入れなかった方や、指定避難所まで距離的に行くことが困難である方が（C、E）へ避難したことが考えられる。
●日付毎では、本震直後の１６日が最も多い件数（1,040件）となっており、その後は日付の経過と共に、件数は減少傾向となっている。また、避難場所別に見ると、日付の経過と共に「A　市立小中高等学校」「B　区役所・総合出張所等」が比率が高くなり、「C～E」が低くなっており、これは避難所の集約や地域公民館・コミセン・集会所・公園などの避難所閉鎖等の影響により（A、B）の比率が高くなったことが考えられる。

【全体集計】



問１０　本市では、市立の小・中・高等学校等を「避難所」として指定し、アルファ米、クラッカー、ビスケットなどの食料を備蓄していました。今回の経験を踏まえ、上記以外の備蓄であったら良いと思う「食料・飲料水」を選んでください。あてはまるアルファベットに２つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「H　飲料水」を選択した方が**６３.１％**と最も高く、次いで「A　缶詰類」が**４０.３％**、「B　備蓄用パン」が**２５.９％**と高い状況になっている。
●これは今回の熊本地震において、水道水の断水や支援物資が３日間程度十分に行き渡らなかったことにより水が入手困難になったことから高い状況になったことが考えられるが、上位の３項目（H、A、B）に関しては備蓄品としては一般的な物であり、調理等の必要がなく飲食できるものとなっている。
上位３項目以外では、「D　栄養補助食品」が高く、避難時の栄養の偏りやアレルギー等を考慮したものだと考えられる。
●区別では、区毎に大きなバラつきはなく、上位３項目（H、A、B）はどの区でも同様であった。「D」は全体的には４番目に高いものの東区では低く、「I」は全区において平均的な状況となっている。

【その他　主な意見】

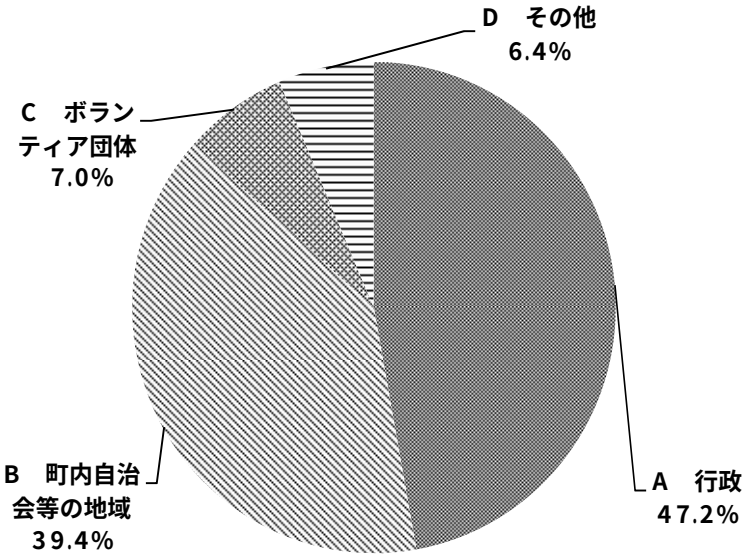
・毛布の備蓄量が圧倒的に不足していた。
・乳幼児の食料は必須。
・ガスコンロ等、お湯を沸かす道具。
・歯ブラシ等衛生用品。
・車中泊のための弾性ストッキング。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：1,219件）　　（上段：回答数　下段：%）

		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
全体合計		615	248	159	63	99	61	32	18	388	86	32	33
			40.3%	25.9%	10.2%	16.1%	9.9%	5.2%	2.9%	63.1%	14.0%	5.2%	5.4%
行政区別	中央区	148	56	37	22	22	17	13	7	95	20	7	8
			37.8%	25.0%	14.9%	14.9%	11.5%	8.8%	4.7%	64.2%	13.5%	4.7%	5.4%
	東区	101	44	36	10	7	9	3	5	73	16	3	9
			43.6%	35.6%	9.9%	6.9%	8.9%	3.0%	5.0%	72.3%	15.8%	3.0%	8.9%
	西区	99	33	20	12	22	10	7	1	54	15	9	7
			33.3%	20.2%	12.1%	22.2%	10.1%	7.1%	1.0%	54.5%	15.2%	9.1%	7.1%
	南区	108	53	29	12	26	6	4	1	65	19	6	4
			49.1%	26.9%	11.1%	24.1%	5.6%	3.7%	0.9%	60.2%	17.6%	5.6%	3.7%
	北区	146	58	36	7	21	15	4	3	94	16	6	4
			39.7%	24.7%	4.8%	14.4%	10.3%	2.7%	2.1%	64.4%	11.0%	4.1%	2.7%
	区未回答	13	4	1	0	1	4	1	1	7	0	1	1
			30.8%	7.7%	0.0%	7.7%	30.8%	7.7%	7.7%	53.8%	0.0%	7.7%	7.7%

問１１　本市では、「避難所」の運営を町内会など地域の方々と協力して行うこととしていました。しかし、今回の震災時には行政のマンパワーが不足したこともあり、行政だけでは避難所対応が十分ではない避難所もありました。今後、「避難所の運営」は、どこが主体となり行うと良いと思われますか。あてはまるアルファベットに１つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「A　行政」を選択した方が**47.2%**と最も高く、次いで「B　町内自治会等の地域」が**39.4%**と高い状況になっている。
●避難所の運営は「行政」が行うべきという回答が多くなっているが、回答の中には「行政だけで行うのではなく、地域や各団体と行政が連携して行うべき」、「避難所のある地域のことを理解した職員を配置するべき」といった意見もあった。
また、「B　町内自治会等の地域」を選択した方では、「地域のことは地域が一番よくわかる」といった意見等があった。
●区別では、すべての区において「AとB」が高くなっているが、南区と北区においては特に「A　行政」を選択した方が多い状況となっている。

【その他　主な意見】

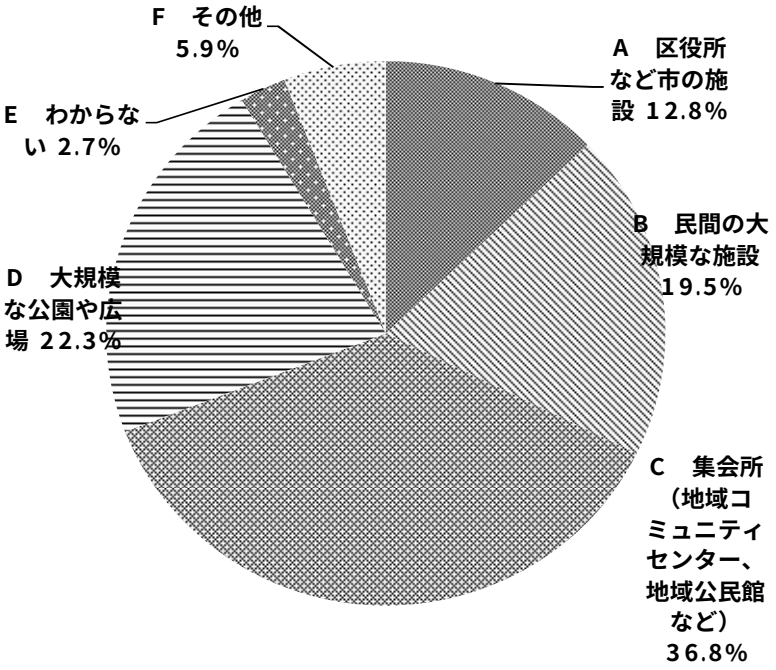
・活動可能な避難者が組織となり運営を行う。
・町内自治会と行政、避難者代表などが連携して行う。
・基本は町内自治会など地域の人間と、避難者ボランティア等で行い、行政は側面からの支援を行う。
・行政がおこなうべきであるが、避難所においてリーダーとして指揮をする人の教育が必要。
・行政や地域、各団体などの役割分担を明確にすることが必要。

（未回答者や複数回答者あり）　　（上段：回答数　下段：%）

		回答者数	A	B	C	D
全体合計		612	289	241	43	39
			47.2%	39.4%	7.0%	6.4%
行政区別	中央区	149	69	62	11	7
			46.3%	41.6%	7.4%	4.7%
	東区	99	43	42	7	7
			43.4%	42.4%	7.1%	7.1%
	西区	97	43	46	4	4
			44.4%	47.4%	4.1%	4.1%
	南区	110	57	35	11	7
			51.8%	31.8%	10.0%	6.4%
	北区	145	74	50	10	11
			51.0%	34.5%	6.9%	7.6%
	区未回答	12	3	6	0	3
			25.0%	50.0%	0.0%	25.0%

問１２　本市では、市立の小・中・高等学校等を「避難所」として指定し、物資の備蓄などを行っていましたが、今回の震災では避難者数が多く、「指定避難所」以外の避難所へ避難される方も多数いました。今回の経験を踏まえて、今後、「避難所」として新たに考えるべきと思う施設をお答えください。あてはまるアルファベットに１つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「C　集会所（地域コミュニティセンター、地域公民館など）」が**３６．８％**と最も高くなっており、次いで「D　大規模な公園や広場」が**２２．３％**、「B　民間の大規模な施設」が**１９．５％**と高い状況となっている。

●これは、今回の地震において地域公民館や地域コミュニティセンターが避難所として活用されたことから選択されたものと考えられるが、回答の中には「耐震性を確保した上で避難所」とする意見もあった。（実際に今回の地震で被災した公民館等あり）
また、今回の地震では避難所に避難したくても避難できない（家庭の事情やペット等）方々が車中泊を行っているため、「D　大規模な公園や広場」が選択されたものと考えられる。

【その他　主な意見】

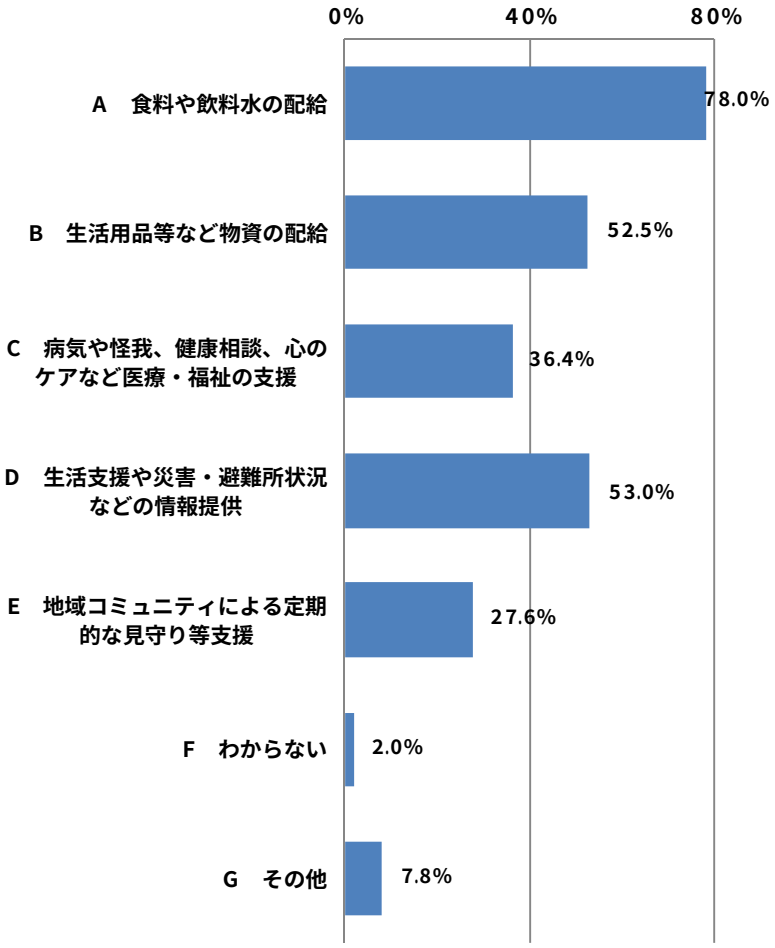
・高齢者や車のない方は自宅から近い公民館や老人憩の家、集会所でないと指定避難所まで行くのは困難。
・地域公民館や地域コミュニティセンターについて、耐震性を確保（強化）した上で利用。
・福祉施設や介護施設。
・避難所は一極集中型ではなく、一時避難所も含めて分散する見直しが必要。
・町内自治会単位で最適な場所を（避難所として）選定していくべき。

（未回答者や複数回答者あり）　　（上段：回答数　下段：％）

		回答者数	A	B	C	D	E	F
全体合計		660	84	129	243	147	18	39
			12.8%	19.5%	36.8%	22.3%	2.7%	5.9%
行政区別	中央区	154	18	37	46	38	5	10
			11.7%	24.0%	29.9%	24.7%	3.2%	6.5%
	東区	110	9	26	38	28	2	7
			8.2%	23.6%	34.5%	25.5%	1.8%	6.4%
	西区	106	19	14	42	17	3	11
			17.9%	13.2%	39.6%	16.0%	2.8%	10.4%
	南区	128	22	19	52	26	2	7
			17.2%	14.8%	40.6%	20.3%	1.6%	5.5%
	北区	149	15	30	60	35	5	4
			10.1%	20.1%	40.3%	23.5%	3.3%	2.7%
	区未回答	13	1	3	5	3	1	0
			7.7%	23.1%	38.4%	23.1%	7.7%	0.0%

問１３　今回の震災では、「避難所への避難が必要であったにも関わらず、何らかの理由で避難できず自宅や車中泊等で過ごされた方々」がいました。その方々に対して、行政や地域の支援のあり方について検討を行っています。支援のあり方について必要と思われるアルファベットに「○」をつけてください。（複数回答可）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「A　食料や飲料水の配給」を選択した方が**７８.０％**と最も高く、次いで「D　生活支援や災害・避難状況などの情報提供」が**５３.０％**、「B　生活用品等など物資の配給」が**５２.５％**と高い状況になっている。
●今回の地震において車中泊者まで支援物資の配給が行き届かなかったことから（A、B）が高くなったものと考えられる。
また、車中泊者への情報提供においても避難者が自ら市ホームページやテレビ等で情報収集を行う必要があり、プッシュ型での情報提供が困難であったことから高くなったものと考えられる。
●区別では、区毎においても大きなバラつきはないものの、東区においては各項目が全体的に他の区よりも高い選択率となっている。

【その他　主な意見】

・簡易トイレや入浴支援。
・物資は避難所に取りに行くこととし、避難所では車中泊者分も含めて物資を確保する。
・各校区や自治連に物資を回し、事情に詳しい地域の者に任せるべき。
・車中泊などの把握は地域のほうがわかる。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：1,583件）　　（上段：回答数　下段：%）

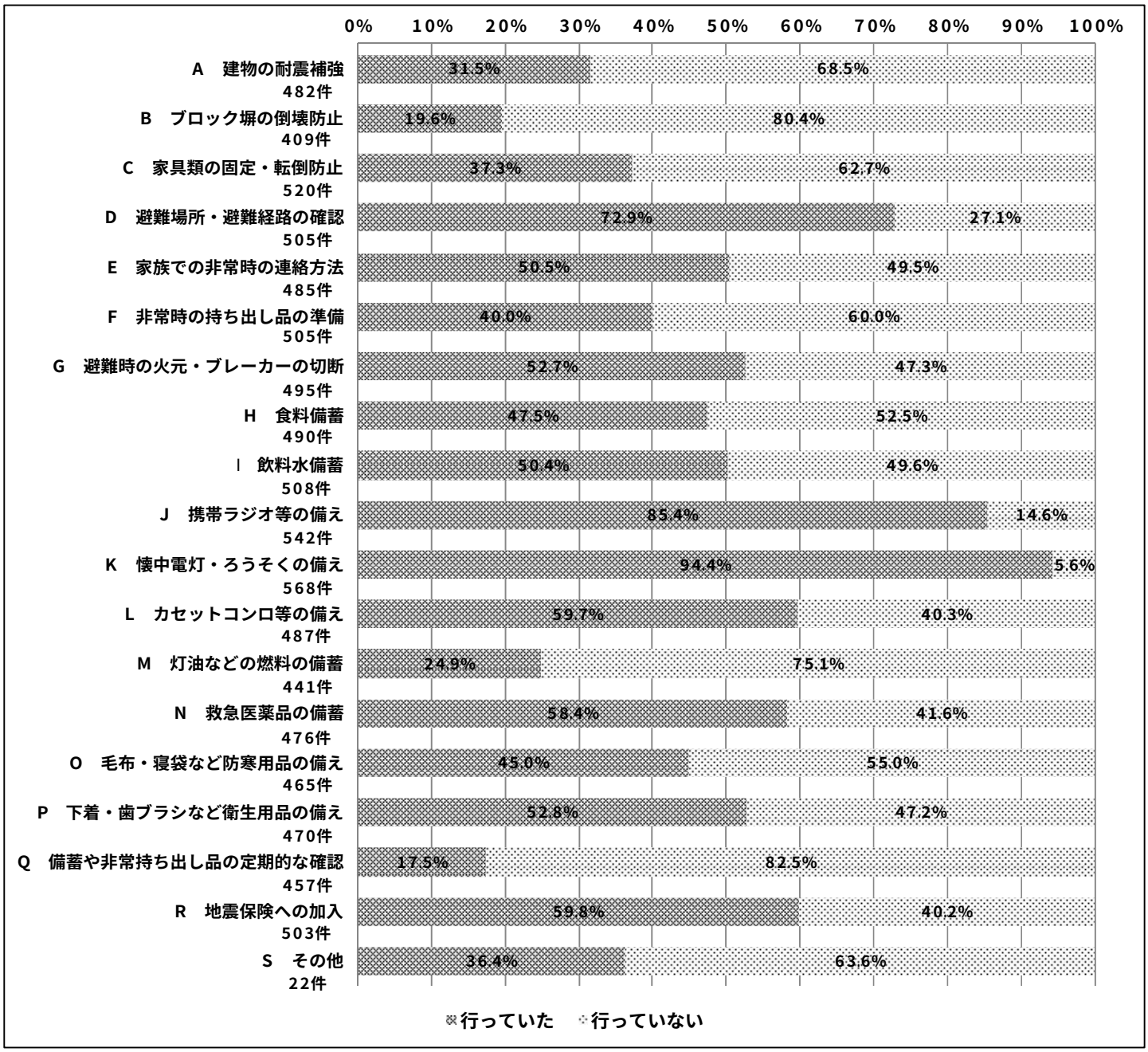
		回答者数	A	B	C	D	E	F	G
全体合計		615	480	323	224	326	170	12	48
			78.0%	52.5%	36.4%	53.0%	27.6%	2.0%	7.8%
行政区別	中央区	148	117	72	53	77	36	4	9
			79.1%	48.6%	35.8%	52.0%	24.3%	2.7%	6.1%
	東区	101	84	60	46	67	30	0	10
			83.2%	59.4%	45.5%	66.3%	29.7%	0.0%	9.9%
	西区	99	78	53	30	59	34	0	11
			78.8%	53.5%	30.3%	59.6%	34.3%	0.0%	11.1%
	南区	108	82	61	44	49	34	2	6
			75.9%	56.5%	40.7%	45.4%	31.5%	1.9%	5.6%
	北区	146	112	72	49	69	33	5	10
			76.7%	49.3%	33.6%	47.3%	22.6%	3.4%	6.8%
	区未回答	13	7	5	2	5	3	1	2
			53.8%	38.5%	15.4%	38.5%	23.1%	7.7%	15.4%

問１４　あなたご自身（ご家庭を含む）で、今回の震災以前に何らかの備えをしていましたか。行っていた備えについてお聞きします。あてはまる欄に「○」をつけてください。

【集計分析】

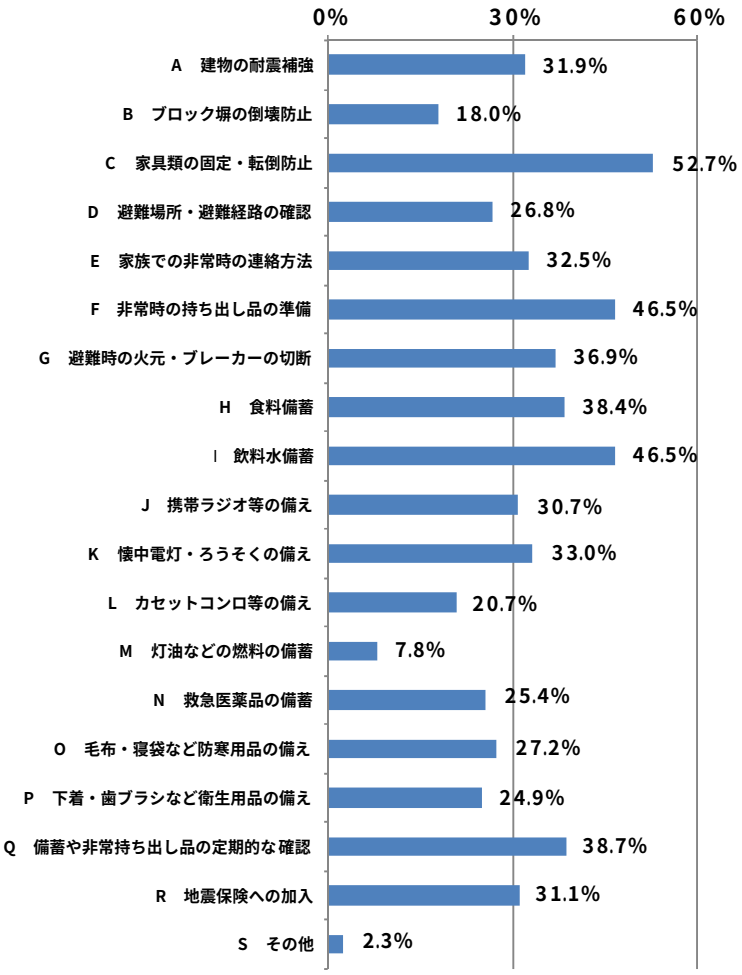
●安全対策（A、B、C）を行っていた方は約２０～３７％とやや低い状況となっている。「まさか熊本で地震がくるとは思っておらず」、お金をかけてまで家の耐震等は行っていなかったことが考えられるが、一方で「R　地震保険」は５９.８％と行っていると回答した方が高い状況となっている。
●避難準備（D～G）を行っていた方は概ね高い状況となっており、特にアンケート対象が町内自治会長等ということもあり、「D　避難場所等の確認」は７２.９％と高い状況となっている。
●備蓄（H～P）を行っていた方は概ね高い状況となっている反面、「Q　持ち出し品の確認」を行っている方は少なく、回答の中には「熊本で地震がくるとは思わなかった」という意見も多数あり、今後の備えの充実が考えられる。

【全体集計】（未回答者あり）



問１５　あなたご自身（ご家庭を含む）で震災後に新たに備えたものや、今後備えたいと思っているものをお答えください。あてはまる回答欄に「○」をつけてください。（複数回答可）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「C　家具類の固定・転倒防止」を選択した方が**５２.７％**と最も高く、次いで「F　非常時の持ち出し品の準備」と「I 飲料水の備蓄」が**４６.５％**と高い状況になっている。
●問１４にて家具類の固定を行っていたと回答した方は３７.３％であり、今回の地震により家具が転倒したという意見も多かったため高くなっていると考えられる。上位の（C、F、I）については、個人でも備えることが容易であることも高くなった要因だと考えられる。また、問１４で１７.５％と低い状況であった「Q　備蓄や非常持ち出し品の定期的な確認」も、今回の地震により高い状況なったことが考えられる。
●区別では、大きなバラつきはないものの、東区は「C」が６５％を超えており、震源から近かったため、家具類の転倒被害も大きかったことが考えられる。

【その他　主な意見】

・常用薬については持ち出せる準備が必要。
・お風呂の水を溜めておく。
・地震に対する意識がなかったため、今後は今回の経験から必要な備えを行う。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：3,517件）　　（上段：回答数　下段：%）

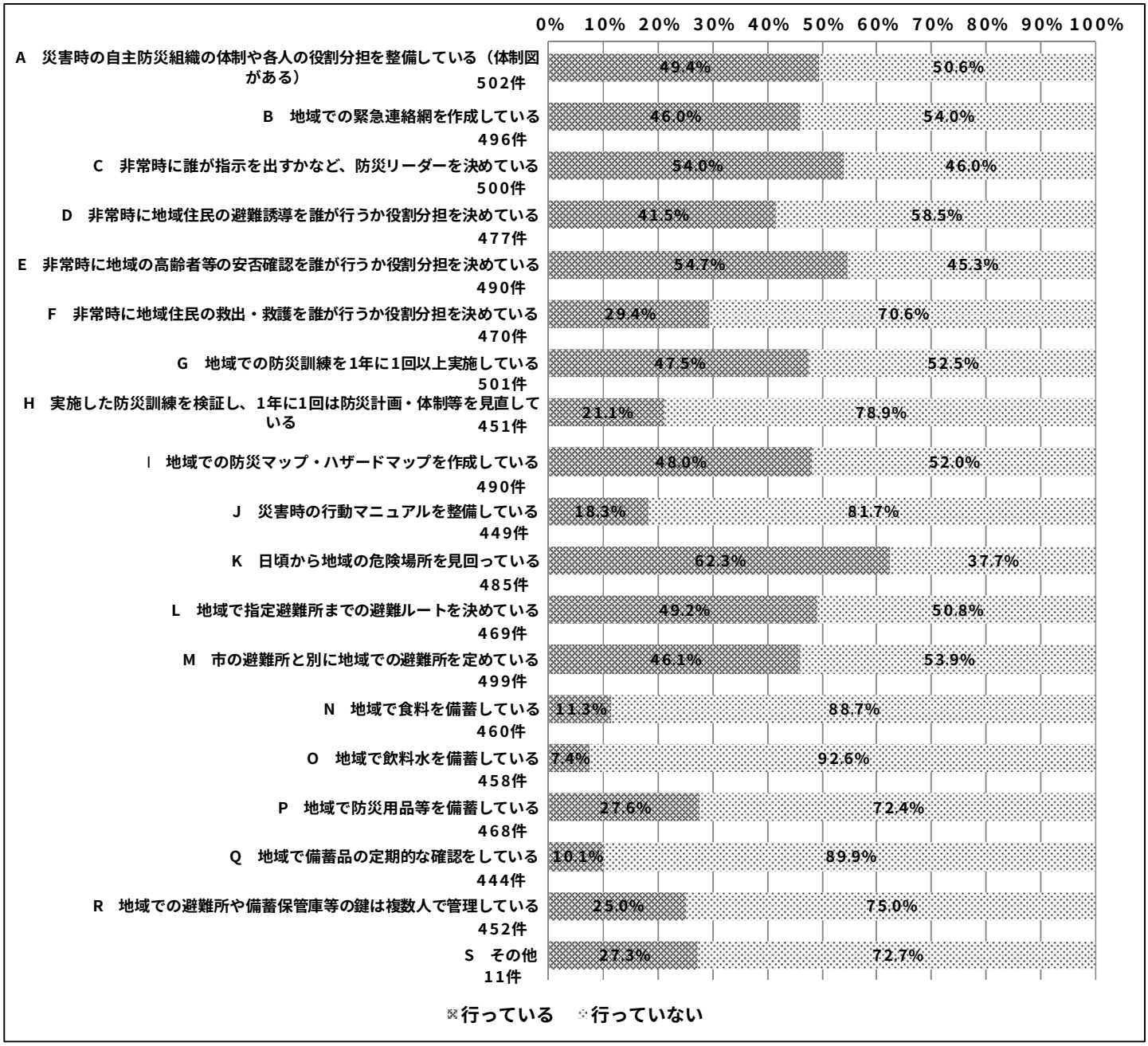
		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
全体合計		615	196	111	324	165	200	286	227	236	286	189	203	127	48	156	167	153	238	191	14
			31.9%	18.0%	52.7%	26.8%	32.5%	46.5%	36.9%	38.4%	46.5%	30.7%	33.0%	20.7%	7.8%	25.4%	27.2%	24.9%	38.7%	31.1%	2.3%
行政区別	中央区	148	43	33	76	38	43	58	60	50	65	43	47	33	8	40	34	32	58	38	2
			29.1%	22.3%	51.4%	25.7%	29.1%	39.2%	40.5%	33.8%	43.9%	29.1%	31.8%	22.3%	5.4%	27.0%	23.0%	21.6%	39.2%	25.7%	1.4%
	東区	101	38	19	66	27	41	54	42	46	56	42	39	31	9	30	33	33	47	43	1
			37.6%	18.8%	65.3%	26.7%	40.6%	53.5%	41.6%	45.5%	55.4%	41.6%	38.6%	30.7%	8.9%	29.7%	32.7%	32.7%	46.5%	42.6%	1.0%
	西区	99	34	17	57	31	37	50	35	38	52	28	31	16	9	29	31	27	37	39	4
			34.3%	17.2%	57.6%	31.3%	37.4%	50.5%	35.4%	38.4%	52.5%	28.3%	31.3%	16.2%	9.1%	29.3%	31.3%	27.3%	37.4%	39.4%	4.0%
	南区	108	40	18	60	31	34	53	45	48	53	31	37	17	7	26	34	27	47	34	6
			37.0%	16.7%	55.6%	28.7%	31.5%	49.1%	41.7%	44.4%	49.1%	28.7%	34.3%	15.7%	6.5%	24.1%	31.5%	25.0%	43.5%	31.5%	5.6%
	北区	146	38	23	59	36	42	62	41	47	53	40	45	27	14	28	32	31	43	33	1
			26.0%	15.8%	40.4%	24.7%	28.8%	42.5%	28.1%	32.2%	36.3%	27.4%	30.8%	18.5%	9.6%	19.2%	21.9%	21.2%	29.5%	22.6%	0.7%
	区未回答	13	3	1	6	2	3	9	4	7	7	5	4	3	1	3	3	3	6	4	0
			23.1%	7.7%	46.2%	15.4%	23.1%	69.2%	30.8%	53.8%	53.8%	38.5%	30.8%	23.1%	7.7%	23.1%	23.1%	23.1%	46.2%	30.8%	0.0%

問１６　あなたの地域では、今回の震災以前に何らかの備えをしていましたか。地域で行っていた備えについて、あてはまる欄に「○」をつけてください。

【集計分析】

●防災体制（A～F）を行っていた地域は約４０～５４％とそれぞれの項目で約半数は行っていたものの、「F」のみが２９.４％と低い状況となっている。救出・救護については専門性や二次被害の危険性から低くなっていることが考えられる。
●計画・訓練（H～L）については項目により回答にバラつきがあり、ハザードマップや危険箇所の確認等は約４８～６２％あるのに対し、行動マニュアルの整備や防災計画等の見直しは約２０％と低い状況になっている。
●備蓄等（M～R）については各項目ともに約１０～２７％と低い状況になっている。これは各地域で飲食料や防災用品を備えるには費用がかかるため、各地域で備蓄を行うことは困難であったと考えられる。

【全体集計】



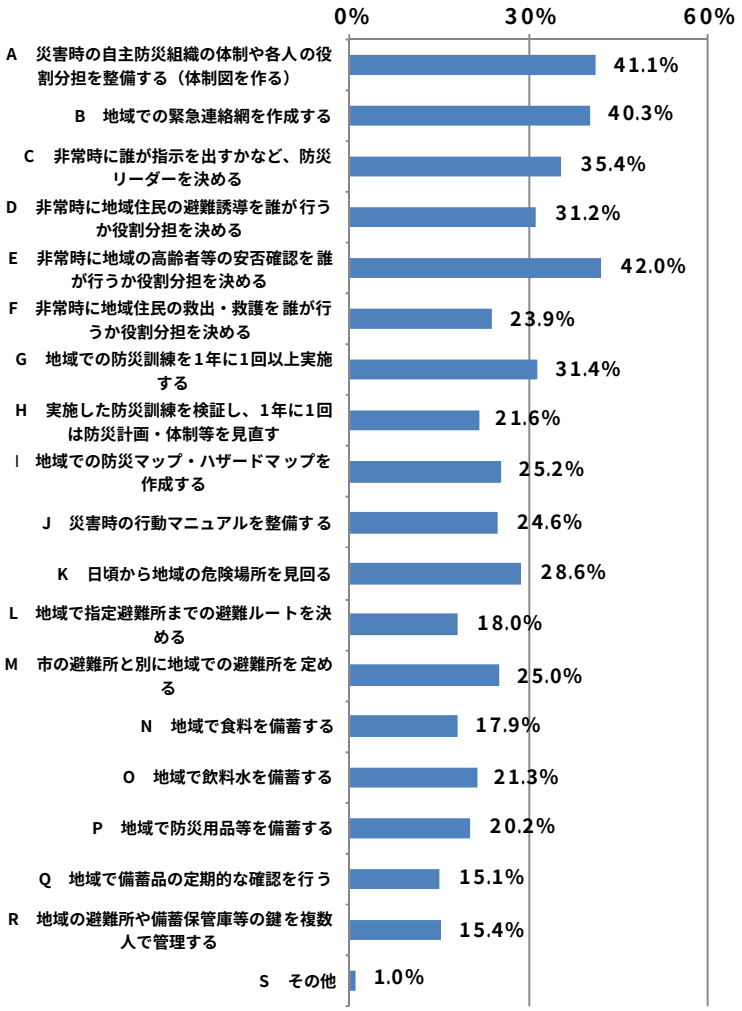
問１７　問１６の項目「M」で「行っていた」とお答えした方にお聞きします。本市の定める避難所と別に、地域で避難所と定めている場所（施設）名をご記入ください。

【主な意見】

・広場、コミュニティ施設
・地域公民館、コミセン、公園
・公園、憩の家
・公園
・民間会社の施設、民間葬儀場施設
・公園、花岡山
・神社、民営駐車場
・公園、憩の家
・社会福祉法人施設
・はぁもにぃ
・コンビニエンスストアなど駐車場
・ホテル
・熊本県教育会館
・高等学校
・県営団地集会所
・大学の体育館
・公園
・公園、老人憩の家
・地域公民館
・老人福祉施設
・民間の駐車場
・老人憩の家
・団地集会所
・公園
・地域公民館
・団地集会所、運動場
・高校、コミセン、公園
・スーパー店舗敷地
・マンション内の集会所
・公園、老人憩の家
・町内公民館、公園
・県運動公園
・特別養護老人ホーム
・東部会館
・地域公民館、公園
・宗教関連施設
・町内集会所
・公園
・スーパー駐車場
・地域公民館
・集会所、小学校
・老人憩の家
・小学校、集会所、文化ホール
・特別養護老人ホーム
・地域公民館、コミセン、保育園、漁協
・地域公民館、駐車場
・消防署庁舎会議室
・デイサービスセンター
・老人憩の家、神社拝殿
・地域公民館、憩の家
・神社、公民館
・市営住宅集会室
・民間の専門学校
・町内ふれあいセンター
・地域公民館
・県営団地集会場
・公園
・地域公民館
・特別養護老人施設
・民間放送施設
・民間所有の空き地
・公園
・公園
・地域公民館
・地域公民館
・神社
・寺院、クリニック
・公園
・神社、寺、民間病院、地域公民館
・民間病院施設
・地域公民館、公園
・コミセン、地域集会場
・大型商業施設の駐車場
・地域公民館、コミセン、公園、老人憩の家
・工業団地空き地
・芝生や広場

問１８　あなたの地域で震災後に新たに備えたものや取組んだこと、今後備えたい、取組みたいと思っているものをお答えください。あてはまる回答欄に「○」をつけてください。（複数回答可）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「E　非常時に地域の高齢者等の安否確認を誰が行うか役割分担を決める」が**４２％**と最も高いが、全体的に特出したものはなく分野別に見ると【体制】（A～F）が**平均約３５％**、【計画・訓練】（G～L）が**平均約２５％**、【備蓄等】（M～R）が**平均約１９％**となっている。
●「E」については、問５においても「安否確認」は高い回答状況となっており、今回の地震を踏まえて、地域の安否確認の取組みに高い関心があると考えられる。
また、地域においての備蓄については、金銭面のこともあり低い状況になったことが考えられる。
●区別では、区毎に大きなバラつきはないものの、東区は全項目において全体合計を上回る結果となっており、回答数が多く出た結果となった。

【その他　主な意見】

・体制や役割分担を行っていたが、皆が被災していたため、思ったとおりに動けなかった。
・今回の経験を踏まえ、ハザードマップの作成や地域における取り組みの見直しが必要。
・備蓄などは地域で行うものではなく、基本的に各個人で行うものである。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：2,948件）　　（上段：回答数　下段：%）

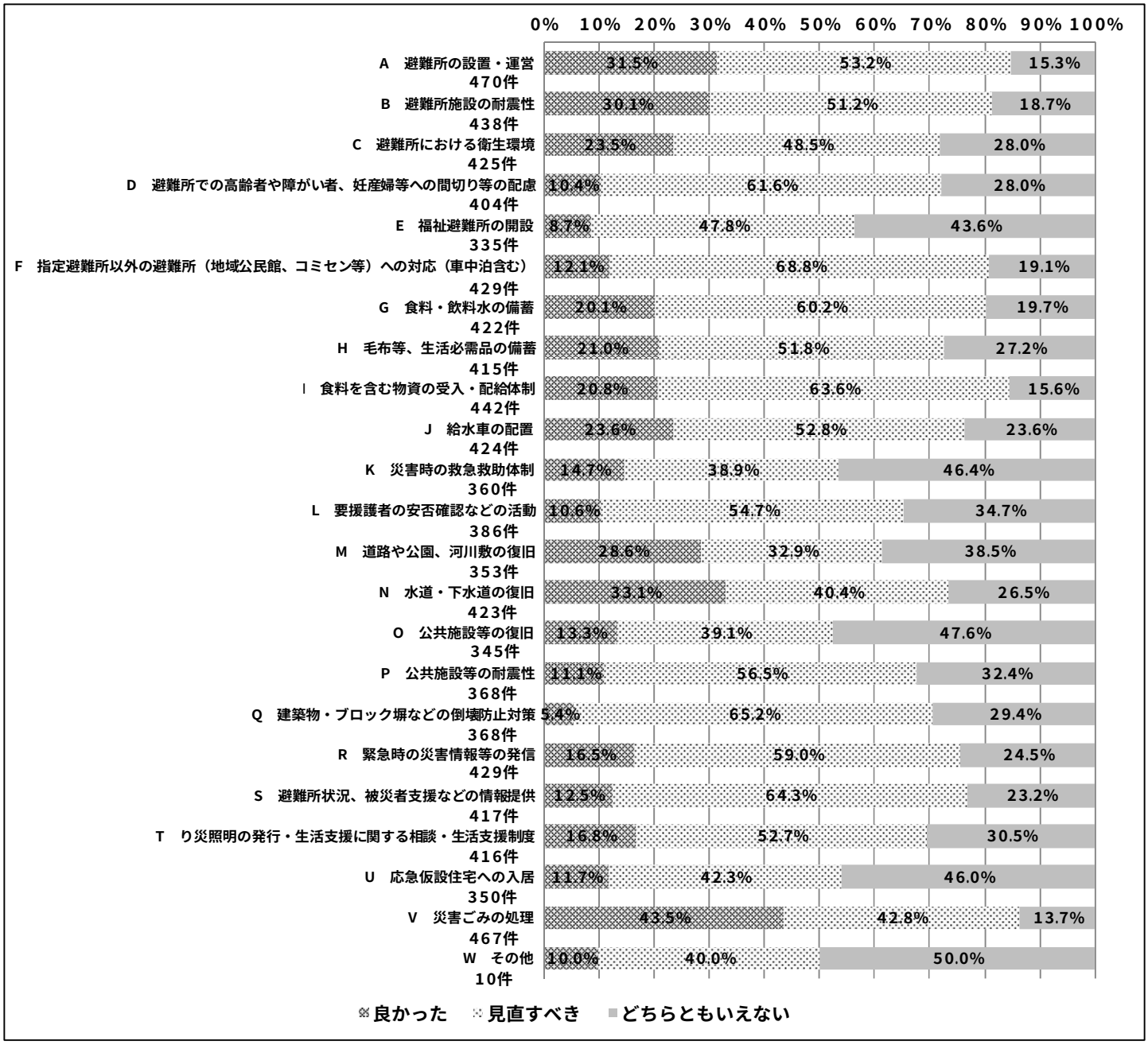
		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
全体合計		615	253	248	218	192	258	147	193	133	155	151	176	111	154	110	131	124	93	95	6
			41.1%	40.3%	35.4%	31.2%	42.0%	23.9%	31.4%	21.6%	25.2%	24.6%	28.6%	18.0%	25.0%	17.9%	21.3%	20.2%	15.1%	15.4%	1.0%
行政区別	中央区	148	59	61	57	48	66	43	45	38	40	32	46	32	32	29	36	35	30	28	1
			39.9%	41.2%	38.5%	32.4%	44.6%	29.1%	30.4%	25.7%	27.0%	21.6%	31.1%	21.6%	21.6%	19.6%	24.3%	23.6%	20.3%	18.9%	0.7%
	東区	101	52	46	43	43	50	29	39	27	33	38	35	26	41	27	30	28	22	22	0
			51.5%	45.5%	42.6%	42.6%	49.5%	28.7%	38.6%	26.7%	32.7%	37.6%	34.7%	25.7%	40.6%	26.7%	29.7%	27.7%	21.8%	21.8%	0.0%
	西区	99	43	41	36	29	44	21	31	20	28	26	30	18	33	19	22	19	16	18	1
			43.4%	41.4%	36.4%	29.3%	44.4%	21.2%	31.3%	20.2%	28.3%	26.3%	30.3%	18.2%	33.3%	19.2%	22.2%	19.2%	16.2%	18.2%	1.0%
	南区	108	45	41	33	33	41	25	41	24	20	26	28	15	17	16	20	21	9	10	2
			41.7%	38.0%	30.6%	30.6%	38.0%	23.1%	38.0%	22.2%	18.5%	24.1%	25.9%	13.9%	15.7%	14.8%	18.5%	19.4%	8.3%	9.3%	1.9%
	北区	146	50	56	46	37	54	28	36	24	32	29	33	17	28	15	19	19	14	16	2
			34.2%	38.4%	31.5%	25.3%	37.0%	19.2%	24.7%	16.4%	21.9%	19.9%	22.6%	11.6%	19.2%	10.3%	13.0%	13.0%	9.6%	11.0%	1.4%
	区未回答	13	4	3	3	2	3	1	1	0	2	0	4	3	3	4	4	2	2	1	0
			30.8%	23.1%	23.1%	15.4%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	0.0%	30.8%	23.1%	23.1%	30.8%	30.8%	15.4%	15.4%	7.7%	0.0%

問１９　今回の震災時における行政の支援体制や対応状況について、あてはまる欄に「○」をつけてください。

【集計分析】

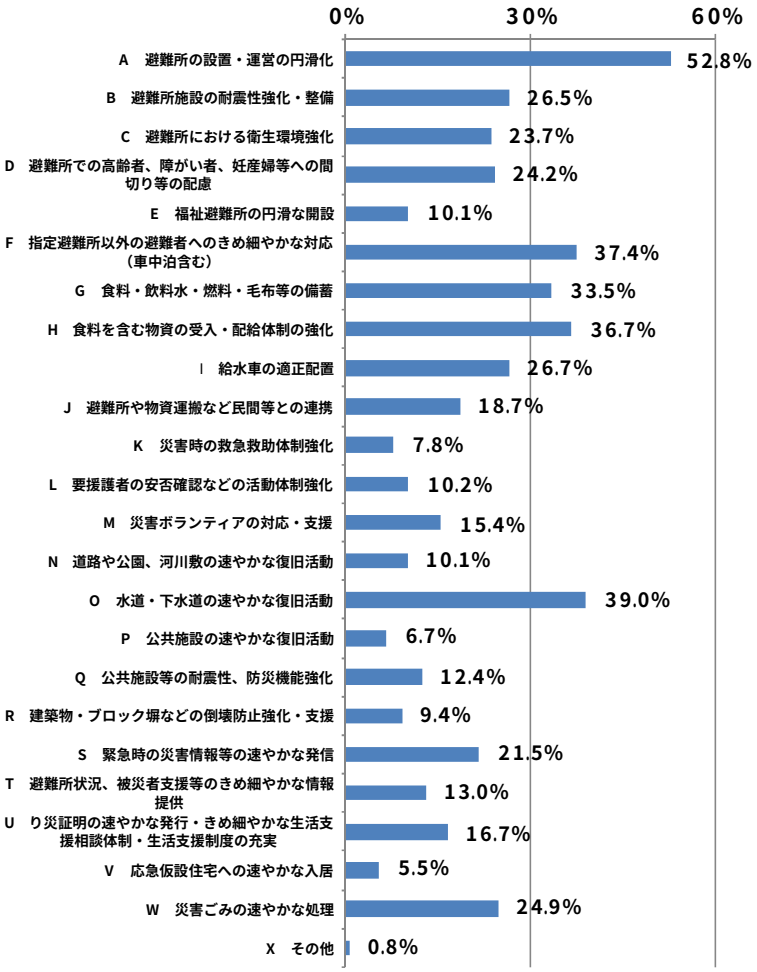
●避難・救助（A～L）については、全項目で「見直すべき」という回答が高くなっている状況。特に（D、F、G、I）は「見直すべき」が６０％を超える高い状況であり、今回の地震を踏まえて全体的に見直す必要があると考えられる。
●公共施設等（M～Q）についても、「見直すべき」という回答が高くなっている状況。「Q」おいて「見直すべき」との回答率が高くなっているが、回答数は「N　水道・下水道の復旧」が多く、ライフラインの復旧に高い関心があることが考えられる。
●生活再建（T～V）については、「見直すべき」という回答が高くなっているが、「V　災害ごみの処理」は賛否がほぼ半々となっている。「取組が早かった」という意見がある一方、「ゴミが道路を防いでいる。」「家電等の未回収ごみの周知が遅い。」といった意見があったためと考えられる。

【全体集計】



問２０　今後災害等が起こった時、行政からの支援体制について特に必要だと思うものをお答えください。あてはまる回答欄に５つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「A　避難所の設置・運営の円滑化」を選択した方が**５２.８％**と最も高く、次いで、「O　水道・下水道の速やかな復旧活動」が**３９％**と高くなっている。
●各項目では【避難・備蓄関係】（A～L）で全体的に高くなっているが、問１８（共助）では「安否確認」が高い状況となっている一方、公助では「L」は１０.２％と低い状況となっているため、共助・公助での役割分担から公助においての回答率が低くなったことが考えられる。
●区別では、区毎に大きなバラつきはないものの、東区においては（H）、西区においては（O）が５０％を超えており、各区毎に多少のニーズの違いがあったものと考えられる。
これは被害や避難者の状況、ライフラインの復旧状況によって異なるものと考える。

【その他　主な意見】

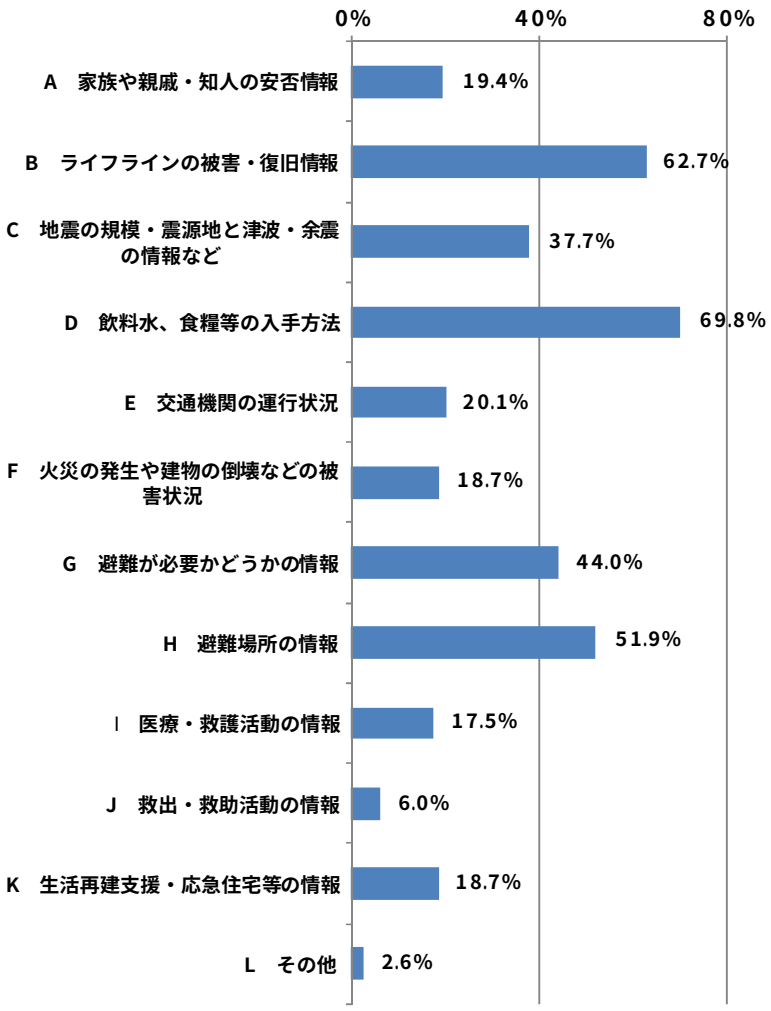
・町内自治会や民生員など組織的に活用できるよう体制づくりが必要。
・初動が大事であり、初動は地域と、その地域に住む行政職員の連携が必要。
・被災避難所もあり避難所の耐震強化が必要。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：2,976件）　　（上段：回答数　下段：%）

		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
全体合計		615	325	163	146	149	62	230	206	226	164	115	48	63	95	62	240	41	76	58	132	80	103	34	153	5
			52.8%	26.5%	23.7%	24.2%	10.1%	37.4%	33.5%	36.7%	26.7%	18.7%	7.8%	10.2%	15.4%	10.1%	39.0%	6.7%	12.4%	9.4%	21.5%	13.0%	16.7%	5.5%	24.9%	0.8%
行政区別	中央区	148	88	32	45	38	23	52	63	57	40	35	8	11	31	9	52	10	20	19	23	13	24	8	50	3
			59.5%	21.6%	30.4%	25.7%	15.5%	35.1%	42.6%	38.5%	27.0%	23.6%	5.4%	7.4%	20.9%	6.1%	35.1%	6.8%	13.5%	12.8%	15.5%	8.8%	16.2%	5.4%	33.8%	2.0%
	東区	101	57	40	17	27	9	40	32	55	25	28	10	13	16	12	35	13	18	11	24	17	21	10	25	0
			56.4%	39.6%	16.8%	26.7%	8.9%	39.6%	31.7%	54.5%	24.8%	27.7%	9.9%	12.9%	15.8%	11.9%	34.7%	12.9%	17.8%	10.9%	23.8%	16.8%	20.8%	9.9%	24.8%	0.0%
	西区	99	56	24	26	24	8	45	36	32	33	12	8	8	13	11	51	3	7	8	23	10	12	2	17	1
			56.6%	24.2%	26.3%	24.2%	8.1%	45.5%	36.4%	32.3%	33.3%	12.1%	8.1%	8.1%	13.1%	11.1%	51.5%	3.0%	7.1%	8.1%	23.2%	10.1%	12.1%	2.0%	17.2%	1.0%
	南区	108	55	24	26	26	11	41	30	36	24	11	4	12	17	12	42	7	12	7	29	17	27	7	33	1
			50.9%	22.2%	24.1%	24.1%	10.2%	38.0%	27.8%	33.3%	22.2%	10.2%	3.7%	11.1%	15.7%	11.1%	38.9%	6.5%	11.1%	6.5%	26.9%	15.7%	25.0%	6.5%	30.6%	0.9%
	北区	146	62	40	31	33	11	51	41	43	41	27	14	17	14	17	56	8	19	12	31	21	16	6	26	0
			42.5%	27.4%	21.2%	22.6%	7.5%	34.9%	28.1%	29.5%	28.1%	18.5%	9.6%	11.6%	9.6%	11.6%	38.4%	5.5%	13.0%	8.2%	21.2%	14.4%	11.0%	4.1%	17.8%	0.0%
	区未回答	13	7	3	1	1	0	1	4	3	1	2	4	2	4	1	4	0	0	1	2	2	3	1	2	0
			53.8%	23.1%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%	30.8%	23.1%	7.7%	15.4%	30.8%	15.4%	30.8%	7.7%	30.8%	0.0%	0.0%	7.7%	15.4%	15.4%	23.1%	7.7%	15.4%	0.0%

問２１　問２０で「S」又は「T」を選択した方にお聞きします。震災時に、あなたが知りたい情報は何ですか。あてはまるアルファベットに「○」をつけてください。（複数回答可）

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「D　飲料水、食糧等の入手方法」を選択した方が**６９.８％**と最も高く、次いで「B　ライフラインの被害・復旧情報」が**６２.７％**、「H　避難場所の情報」が**５１.９％**と高い状況となっている。
●これは本震（１６日）発生直後、飲料水や食糧が十分に行き届かなかったことや、民間における飲食物等の営業情報、自宅のライフラインの復旧時期が把握できなかったことから高くなったことが考えられる。
また、「H　避難場所の情報」については、「どこに避難してよいかわからない。」「避難場所が多くて入れなかった。」等の意見もあったことから高い状況になったと考えられる。
●区別では、区毎に大きなバラつきはないものの、中央区では「B」が７３％、東区においては「D」が８０％、「H」が６０％を超えており各区毎に多少のニーズの違いがあったと考えられる。西区では「G」が５０％を超えており、津波情報等の影響により高くなったものと考えられる。

【その他　主な意見】

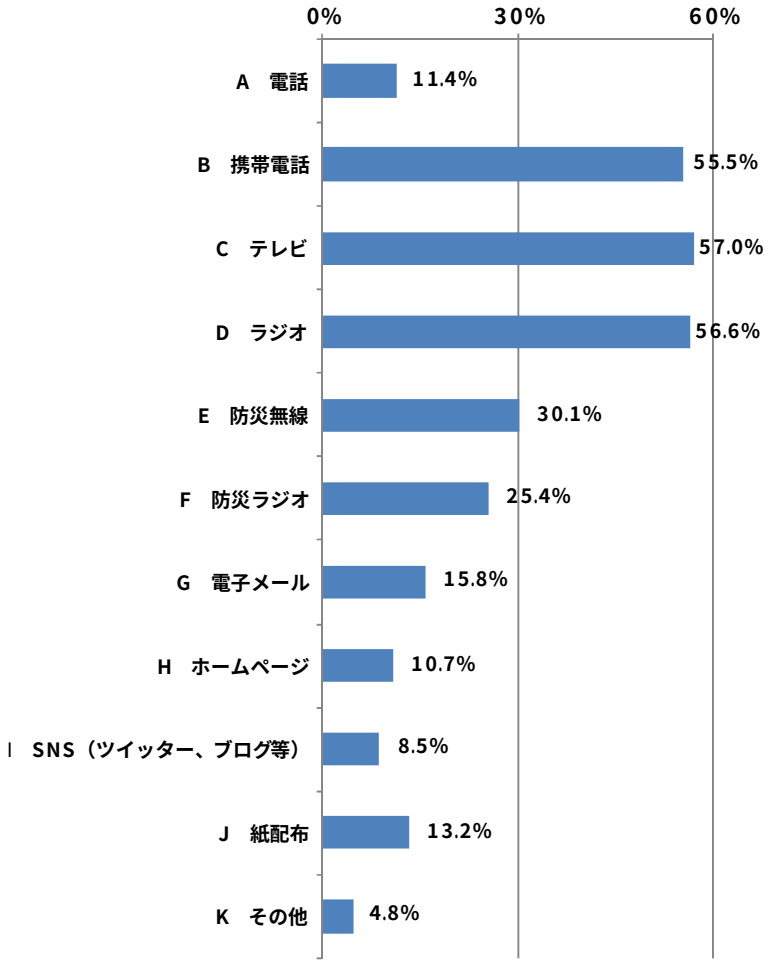
・ライフラインの情報は特に必要。
・防災無線を活用してほしい。

（回答者数：問２０で「S」「T」を選択した方以外にも回答を多くいただいたため問２１に回答した方の数、回答数：９８９件）（上段：回答数　下段：％）

		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
全体合計		268	52	168	101	187	54	50	118	139	47	16	50	7
			19.4%	62.7%	37.7%	69.8%	20.1%	18.7%	44.0%	51.9%	17.5%	6.0%	18.7%	2.6%
行政区別	中央区	63	12	46	21	44	12	13	27	30	14	6	11	1
			19.0%	73.0%	33.3%	69.8%	19.0%	20.6%	42.9%	47.6%	22.2%	9.5%	17.5%	1.6%
	東区	53	7	29	12	43	6	9	22	34	11	6	8	1
			13.2%	54.7%	22.6%	81.1%	11.3%	17.0%	41.5%	64.2%	20.8%	11.3%	15.1%	1.9%
	西区	43	10	29	21	32	12	11	23	22	5	1	9	0
			23.3%	67.4%	48.8%	74.4%	27.9%	25.6%	53.5%	51.2%	11.6%	2.3%	20.9%	0.0%
	南区	53	15	28	26	32	10	8	24	22	6	2	15	4
			28.3%	52.8%	49.1%	60.4%	18.9%	15.1%	45.3%	41.5%	11.3%	3.8%	28.3%	7.5%
	北区	53	8	33	20	33	13	9	22	30	11	1	7	1
			15.1%	62.3%	37.7%	62.3%	24.5%	17.0%	41.5%	56.6%	20.8%	1.9%	13.2%	1.9%
	区未回答	3	0	3	1	3	1	0	0	1	0	0	0	0
			0.0%	100.0%	33.3%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問２２　問２０で「S」又は「T」を選択した方に引き続きお聞きします。
今回の震災を踏まえて、震災時の行政からの情報提供の手段として有効なものは何と考えますか。
あてはまるアルファベットに３つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「C　テレビ」を選択した方が**５７％**と最も高く、次いで「D　ラジオ」が**５６.６％**、「B　携帯電話」が**５５.５％**と高い状況になっている。上位３項目はほぼ差がない結果となった。
●今回の地震を踏まえてのものであるが、上位３項目は以前からあるアナログ媒体であり、また、「G　電子メール」「H　ホームページ」「I　SNS」が低い状況になった結果を考えると、今回のアンケートでは高齢者等のITに精通していない方のことを踏まえたものであることが考えられる。上位３項目に次いでは「E　防災無線」「F　防災ラジオ」といった災害に特化した媒体が高い状況となった。
●区別では、西区・南区・北区において「E　防災無線」が高い状況となっており、特に南区と北区においては合併前の旧町時代に使用していた実績があることから高くなったことが考えられる。

【その他　主な意見】

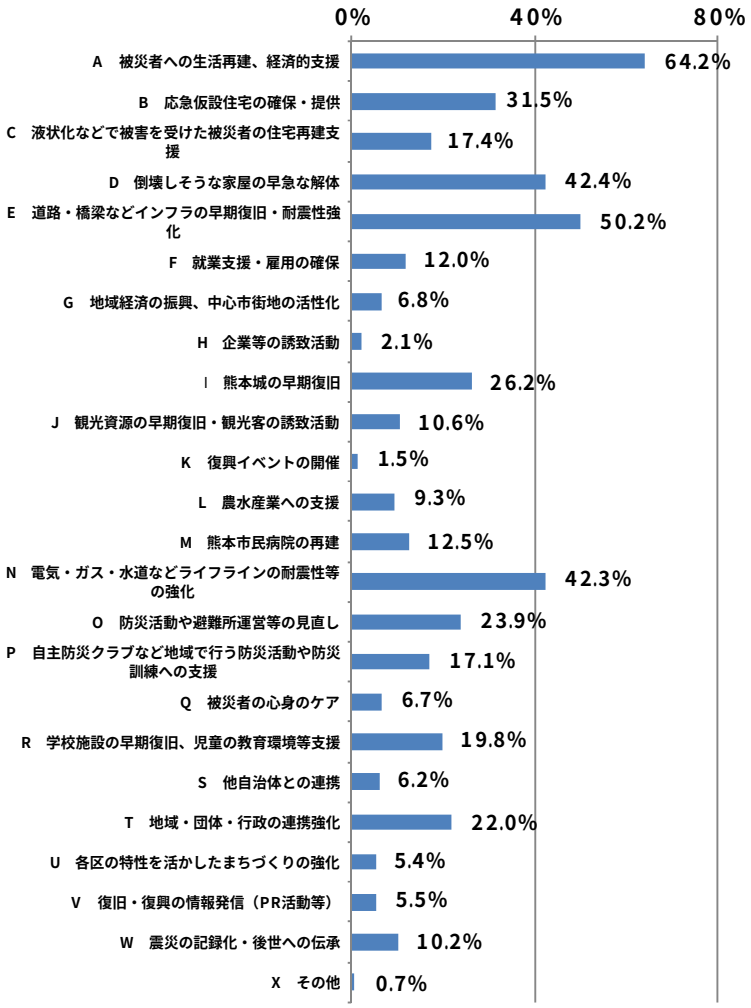
・広報車を利用した情報提供。
・掲示板の利用。
・スマホや携帯電話を利用した情報提供。
・自治会長等を集めた会議。
・高齢者等にはアナログでの情報提供がよい。

（回答者数：問２１同様の理由で問２２に回答した方の数、回答数：７８６件）　　（上段：回答数　下段：%）

		回答者数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
全体合計		272	31	151	155	154	82	69	43	29	23	36	13
			11.4%	55.5%	57.0%	56.6%	30.1%	25.4%	15.8%	10.7%	8.5%	13.2%	4.8%
行政区別	中央区	64	6	37	43	36	7	20	12	8	7	9	1
			9.4%	57.8%	67.2%	56.3%	10.9%	31.3%	18.8%	12.5%	10.9%	14.1%	1.6%
	東区	52	4	35	28	31	5	14	10	8	6	9	3
			7.7%	67.3%	53.8%	59.6%	9.6%	26.9%	19.2%	15.4%	11.5%	17.3%	5.8%
	西区	43	7	21	23	27	14	12	5	4	4	4	3
			16.3%	48.8%	53.5%	62.8%	32.6%	27.9%	11.6%	9.3%	9.3%	9.3%	7.0%
	南区	52	2	26	28	31	28	13	9	4	2	9	1
			3.8%	50.0%	53.8%	59.6%	53.8%	25.0%	17.3%	7.7%	3.8%	17.3%	1.9%
	北区	58	11	31	33	28	26	9	6	4	4	4	5
			19.0%	53.4%	56.9%	48.3%	44.8%	15.5%	10.3%	6.9%	6.9%	6.9%	8.6%
	区未回答	3	1	1	0	1	2	1	1	1	0	1	0
			33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%

問２３　今後の復旧・復興において特に優先すべき事項は何と考えますか。
あてはまる回答欄に５つ「○」をつけてください。

【全体合計の割合】



【集計分析】

●全体では、「A　被災者への生活再建、経済的支援」を選択した方が**６４.２％**と最も高くなっており、次いで「E　道路・橋梁などインフラの復旧・耐震性強化」が**５０.２％**、「D　倒壊しそうな家屋の早急な解体」が**４２.４％**、「N　水道などライフライン耐震性等強化」が**４２.３％**と高い状況となっている。
●地震後、日常生活を取り戻していない被災者もいるため「A」が高くなったことが考えられる。また、地震直後から交通渋滞や道路被害等があったこと、災害時の運搬路の確保から「E」も高い状況となったことが考えられる。「N」については、今回の地震による水道の断水等が影響し災害時のライフラインの確保が高い状況になったことが考えられる。
●区別では、南区や西区においては「C」が他の区より高くなっており、液状化被害等があったことが影響していると考えられる。

【その他　主な意見】

・熊本城は県民のシンボルであり、早期復旧してほしい。
・被災者の被害の実情にあった支援が必要。被災者の生活再建が第一と考える。
・今回の経験を後世に引継ぐ記録は必要。
・行政でしかできない事業に取組むべき。

（回答者数：アンケートの回答者数、回答数：2,746件）　　（上段：回答数　下段：%）

		合計	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
全体合計		615	395	194	107	261	309	74	42	13	161	65	9	57	77	260	147	105	41	122	38	135	33	34	63	4
			64.2%	31.5%	17.4%	42.4%	50.2%	12.0%	6.8%	2.1%	26.2%	10.6%	1.5%	9.3%	12.5%	42.3%	23.9%	17.1%	6.7%	19.8%	6.2%	22.0%	5.4%	5.5%	10.2%	0.7%
行政区別	中央区	148	82	38	19	70	61	14	17	2	45	23	1	11	15	67	36	24	13	25	7	25	7	8	14	0
			55.4%	25.7%	12.8%	47.3%	41.2%	9.5%	11.5%	1.4%	30.4%	15.5%	0.7%	7.4%	10.1%	45.3%	24.3%	16.2%	8.8%	16.9%	4.7%	16.9%	4.7%	5.4%	9.5%	0.0%
	東区	101	65	35	11	43	50	11	4	2	24	8	1	9	28	45	39	20	7	31	12	31	2	5	13	0
			64.4%	34.7%	10.9%	42.6%	49.5%	10.9%	4.0%	2.0%	23.8%	7.9%	1.0%	8.9%	27.7%	44.6%	38.6%	19.8%	6.9%	30.7%	11.9%	30.7%	2.0%	5.0%	12.9%	0.0%
	西区	99	66	27	22	34	51	11	5	4	34	10	3	6	11	47	20	22	10	22	9	19	4	3	11	1
			66.7%	27.3%	22.2%	34.3%	51.5%	11.1%	5.1%	4.0%	34.3%	10.1%	3.0%	6.1%	11.1%	47.5%	20.2%	22.2%	10.1%	22.2%	9.1%	19.2%	4.0%	3.0%	11.1%	1.0%
	南区	108	72	37	34	60	65	13	4	3	18	10	1	18	9	43	27	20	4	14	4	26	7	9	11	1
			66.7%	34.3%	31.5%	55.6%	60.2%	12.0%	3.7%	2.8%	16.7%	9.3%	0.9%	16.7%	8.3%	39.8%	25.0%	18.5%	3.7%	13.0%	3.7%	24.1%	6.5%	8.3%	10.2%	0.9%
	北区	146	103	54	19	50	77	23	12	1	36	12	3	13	14	56	23	18	6	28	6	32	13	7	13	2
			70.5%	37.0%	13.0%	34.2%	52.7%	15.8%	8.2%	0.7%	24.7%	8.2%	2.1%	8.9%	9.6%	38.4%	15.8%	12.3%	4.1%	19.2%	4.1%	21.9%	8.9%	4.8%	8.9%	1.4%
	区未回答	13	7	3	2	4	5	2	0	1	4	2	0	0	0	2	2	1	1	2	0	2	0	2	1	0
			53.8%	23.1%	15.4%	30.8%	38.5%	15.4%	0.0%	7.7%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	15.4%	7.7%	7.7%	15.4%	0.0%	15.4%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%